

# 音楽舞踊劇

己の道を生きよ——。  
人には皆、生き方がある。それは決して、善し悪しで決める事の出来ないそれぞれの人生。  
迷い、苦しみ、出した答えが誠の自分。だからこそ、人は信じる道を進むのでは無いだろうか。

# 新選組・土方歳三

上妻宏光

音楽・演奏



宮沢和史

語り



DAZZLE

舞踊



幕末と呼ばれる激動の時代を生きた土方歳三の生涯を宮沢和史の落ち着いた奥の深い語りと、新世代津軽三味線の第一人者上妻宏光自身のベストセレクション楽曲と卓越した演奏が演出する。加えて、和とモダンを独自に表現するダンスカンパニーDAZZLEが、創作的な世界を表現するのが、音楽舞踊劇 新選組・土方歳三である。

日時

2019年9月29日 日

場所

たましんRISURUホール 開演 17:00  
(立川市市民会館)大ホール (開場 16:30)

没後

150



歳三×日野

Toshizo Hijikata

©2019Hino City

全席指定 S席 ¥5,000 A席 ¥4,500 親子割引(A席のみ) 小・中学生1名 ¥500 ※未就学児入場不可

[主催] 公益財団法人立川市地域文化振興財団 [企画制作] 日本コロムビア



今より遡る事、150年ほど前の事。幕末という時代だった日本。黒船来航、開国という大転機と共に、状況や環境も大きく変わり始めていた。国に行く末を心配する多くの人々。尊王攘夷、倒幕と治安は悪化の途を辿る京の都。そこに、国に報いるという誠の義を掲げ、誕生した新選組という一団。その中にはこの男の姿もあった。幕末の伊達男、新選組副長・土方歳三。上方は、近藤勇、沖田総司らと共に治安回復のため力を尽くしていた。その最中、勃発した池田屋事件、大政奉還、親愛なる友との別れ。そして訪れた明治という新しい時代。新選組はどうして出来たのか。なぜ池田屋事件は起こったのか。鳥羽伏見、流山、会津、箱館、五稜郭へと至る戊辰戦争。彼等はなぜ戦わなくてはならなかったのか。親愛なる友とはいったい誰なのか。激動の時代を命懸けで生きた彼等の姿は私たち現代人の心を、力強くふるい立たせてくれる。そして激しく揺れ動く現代だからこそ、改めて歴史から何かを見つめる事が出来るだろう。



**上妻宏光** 三味線プレイヤー

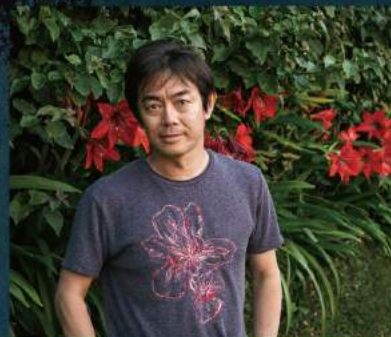
茨城県出身。6歳より津軽三味線を始め、幼少の頃より数々の津軽三味線大会で優勝するなど、純邦楽界で高い評価を得る。

ジャンルを超えた国内外アーティストとのセッションは各方面から注目を集め、世界30か国以上で公演を行う。

2013年安倍内閣総理大臣主催の「TOKYO 2020公式夕食会」、「第5回アフリカ開発会議公式首脳晩餐会」では日本を代表して演奏を披露。ボーダレスな活動を重ねながら、伝統をふまえつつ時代に応じた感性を加え、津軽三味線の「伝統と革新」を追求し続けている。

また日本全国の小学校において日本の伝統音楽の魅力を伝える授業を行っており、次世代への文化伝承にも力を注ぐ新世代津軽三味線奏者の第一人者である。

【オフィシャルHP】<http://agatsuma.tv/>



**宮沢和史** シンガー・ソングライター

1966年山梨県甲府市生まれ。THE BOOMのボーカリストとして1989年にデビュー。これまでにTHE BOOMとしてアルバムを14枚、ソロでは4枚、GANGA ZUMBAとしては2枚リリースしている。作家としても、石川さゆり、喜納昌吉、矢野顕子、夏川りみ、MISIA、中島美嘉、岡田准一、鳥袋寛子、平原綾香、Kinki Kids、大城クラウディアなど、多くのミュージシャンに楽曲を提供。代表曲のひとつ「鳥唄」はアルゼンチンでの大ヒット(2001年)を記録し、国境を越えて今なお世界に広がり続けている。

デビュー25年を迎えた2014年、日本武道館でのライブを最後に、THE BOOMの歴史に幕を閉じ、しばらくの充電期間を経て、2018年11月より本格的な歌手活動を再開。現在沖縄芸術大学で非常勤講師も務める。

【宮沢和史オフィシャルサイト】  
<http://www.miyazawa-kazufumi.jp/>  
【Twitter】[https://twitter.com/miyazawa\\_info](https://twitter.com/miyazawa_info)



**DAZZLE** ダンスカンパニー

1996年結成。「すべてのカテゴリーに属し、属さない暖味な眩さ」をスローガンに掲げ、比類ない世界観を持ち、独創性に富んだ作品を生み出し続けるダンスカンパニー。ストリートダンスとコンテンポラリーダンスを融合させた独自のダンススタイルで、代表作「花田囃」は海外の演劇祭含め国内外問わず多数受賞。

2016年には結成20周年記念公演「鱗人輪舞」で観客投票によるリアルタイムマルチエンディングを採用。そして2017年には日本ではまだ新しい体験型公演と呼ばれるイマージシアター「Touch the Dark」を制作し、チケットが即日ソールドアウトするなど初演含め2年に渡り3度上演、好評を博す。

また2018年にはDAZZLEがプロデュースし出演もした東京ワンピースタワー×イマージシアター「時の箱が開く時」を上演し、チケットが7分でソールドアウトしたため2019年に再演。常に業界内外を問わず“新しい体験”を提供し続けている。

【オフィシャルHP】<http://www.dazzle-net.jp>

音楽舞踊劇

新選組・土方歳三

- 出演**
- 語り ————— 宮沢和史
  - 音楽 ————— 上妻宏光 (三味線)
  - 振り付け、ナレーション — 長谷川達也
  - 舞踊 ————— DAZZLE (長谷川達也、金田健宏、荒井信治、高田秀文)
  - 演奏 ————— 野崎洋一 (キーボード)

- スタッフ**
- 脚本演出 ————— 白鳥祐司
  - プロデューサー ————— 望月 悟
  - 舞台監督 ————— 下原成暁
  - 音楽 ————— 真下信一、高津了輔
  - 照明 ————— 田邊久佳
  - 制作 ————— 西尾友希

◎ チケット一般発売日 ..... 2019年5月25日 [土]

◎ ムーサ友の会会員先行発売日 ..... 2019年5月23日 [木]

窓口受付 10:00 ~ 電話予約 13:00 ~ オンラインチケット 10:00 ~

◎ チケット発売所

- ・たましんRISURUホール (立川市市民会館) ..... 042-526-1311
- ・財団オンラインチケット ..... <http://www.tachikawa-chiikibunka.or.jp/>
- ・e+ (イープラス) ..... <https://eplus.jp/>



**たましんRISURUホール**  
(立川市市民会館)

〒190-0022 東京都立川市錦町3-3-20  
TEL: 042-526-1311

JR「立川」駅下車 南口徒歩13分  
JR「西国立」駅下車 徒歩7分  
多摩モノレール「立川南」駅下車 徒歩12分  
立川バス 立川駅南口発 国立駅南口行  
「たましんRISURUホール」下車すぐ

※隣接したコインパーキングがございます。(最初の1時間無料) ※駐車台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用下さい。

チケット  
お問い合わせ

たましんRISURUホール (立川市市民会館)  
042-526-1311 (平日9:00 ~ 20:00) / 第3月曜日休館 (祝日の場合翌平日)  
※発売初日はお一人様5枚まで購入できます。